

長野県上田市の取組み －ヒアリング調査結果の概要－

都市自治体における地域公共交通のあり方に関する研究会
日本都市センター 石田雄人



公益財団法人

日本都市センター

ヒアリング調査について

○実施日

平成26年8月20日(水)

○調査先

上田市都市計画部地域交通政策課

○調査者

木村委員(一橋大学大学院法学研究科教授)
事務局(日本都市センター)



＜上田駅前ロータリの様子＞



＜コミュニティバス「オレンジバス」＞



＜上田市役所の外観＞



公益財団法人

日本都市センター

長野県上田市の概要①

○人口(世帯数)¹

156,861人(62,161世帯)

○面積²

552.00平方キロメートル

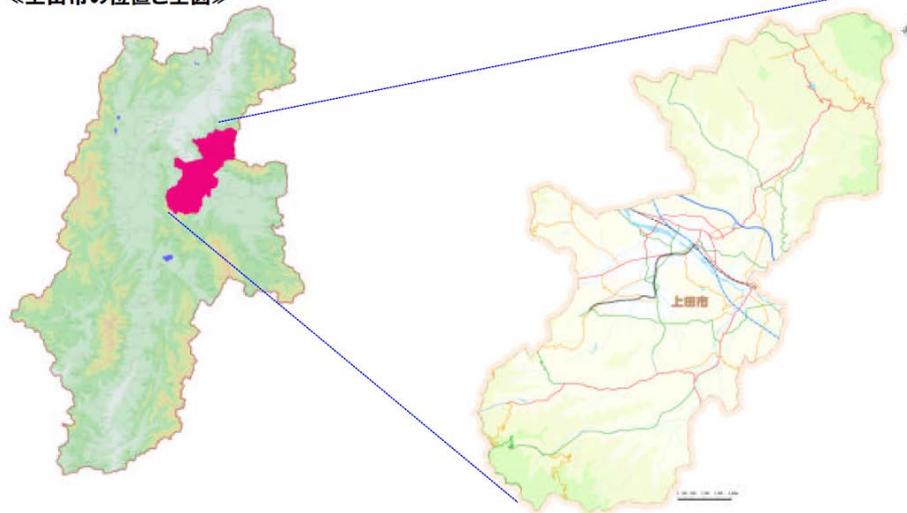
○一般会計³

歳入:748億32百万円
歳出:716億27百万円

○都市制度

一般市

＜上田市の位置と全図＞



＜長野県における上田市の位置＞

出典:上田市『上田市地域公共交通総合連携計画』

1 長野県HP「毎月人口異動調査」による推計人口(平成26年8月1日)

2 国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成25年10月1日)

3 平成25年度決算



公益財団法人

日本都市センター

長野県上田市の概要②

○合併の経緯（平成以降）

- ・平成18年3月6日

上田市、丸子町、真田町、武石村による新設合併

○都市計画区域

- ・旧上田市、旧丸子町の一部を指定

○都市の特徴

- ・南北を山・高原に囲まれている

- ・合併後、各地区に地域協議会⁴を設置し、協働に取り組む

- ・従来から自治会の活動が活発な地域である

- ・上田駅が市の中央部にあり、交通網・バス路線網が上田駅を中心に形成されているため、南北間の移動が少ない

4 地方自治法第138条の4第3項の規定に基づく（上田市地域自治センター条例）



公共交通の現状①

○市内を運行する公共交通

[バス]

- ・民間路線バス(上田バス、千曲バス、他2社)
- ・循環バス(市の委託事業)
- ・オレンジバス(市の委託事業)
- ・地域自主運行バス 等 全32路線

[鉄道]

- ・JR
- ・しなの鉄道
- ・上田電鉄

○上田駅を中心に放射線状に運行

○一般乗合バスの廃止代替バスとして13路線が運行



公益財団法人

日本都市センター

公共交通の現状②

○公共交通利用者の減少

・モータリゼーションの進展や道路環境の整備の充実による影響

○全てのバス路線で赤字経営

○市の補助額の増加傾向

○行政支出

・交通運輸対策事業費

3億68百万円⁵

(歳出:716億27百万円)

[内訳]

オレンジバス・循環バス運行委託

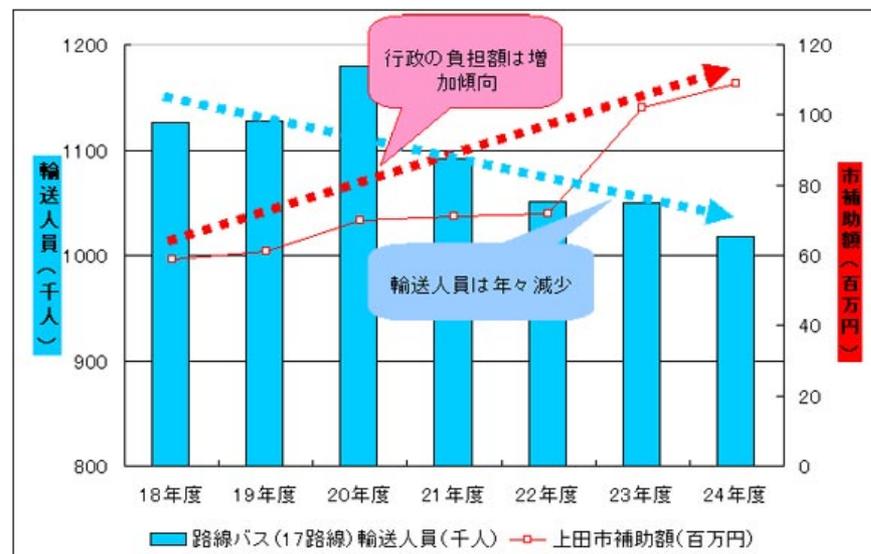
別所線安全対策事業費補助金

地域自主運行バス等運行費補助金

廃止路線代替バス運行費補助金

等

○国・県の補助は縮小傾向



<上田市のバス輸送人員と補助額>

出典:上田市HP「バス路線を維持していくために」

5 上田市『平成25年度決算に係る主要施策の成果等報告書』



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要① —取組みの目的—

- 全ての住民が公共交通により移動できる環境の整備
 - ・当初は、高齢化のための交通施策や通勤通学のダイヤ整備として始まった
 - ・現在は、全ての市民の、多目的な公共交通利用をめざす
- 合併後の一体感の醸成
 - ・旧市町村単位のイベント等への参加を全市民に促したい
 - ・移動の際、時間・距離を考慮すると、公共交通は適している
- 持続可能な交通環境の整備
 - ・現在ある公共交通網を維持したい
 - ・鉄道については、これまでの取組みにより、乗客数が増加に転じる等の一定の成果がある
 - ・今後はバスの再生を進めたい
- 行政と地域（住民）と交通事業者の協働の醸成
 - ・三位一体で進めていきたい



取組みの概要② —組織・体制—

○上田市地域公共交通総合連携計画

- ・平成20年3月策定
- ・旧市町村ごとに整備された公共交通の連携を図る

○上田市公共交通活性化協議会兼上田市地域公共交通会議

- ・平成20年3月14日設置
- ・上田市、公共交通事業者、道路管理者、学識経験者等31名で構成
- ・年2回程度の協議会を開催

○地域交通政策課

- ・平成17年より設置
- ・公共交通に係る業務は、係長以下3名が担当
- ・平成23年度よりバス交通の活性化に着手



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要③ーコミュニティバスー

○コミュニティバスによる交通空白地域の解消

[オレンジバス]

- ・平成13年、福祉バス「福寿号」の見直しを受けて運行開始
- ・高齢者福祉(通院・買い物)を考慮したルート選定
- ・民間の路線バスでは運行しない細かな路線設定
- ・高齢者福祉センターを通過・目的地
- ・地元と協議によりルート決定
- ・1日1往復(朝夕)・週2回運行
(全6コース)
- ・60歳以上・障がい者・幼児は無料
(それ以外100円)



<オレンジバス路線図>

出典:上田市HP「オレンジバス路線図」



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要③ーコミュニティバスー

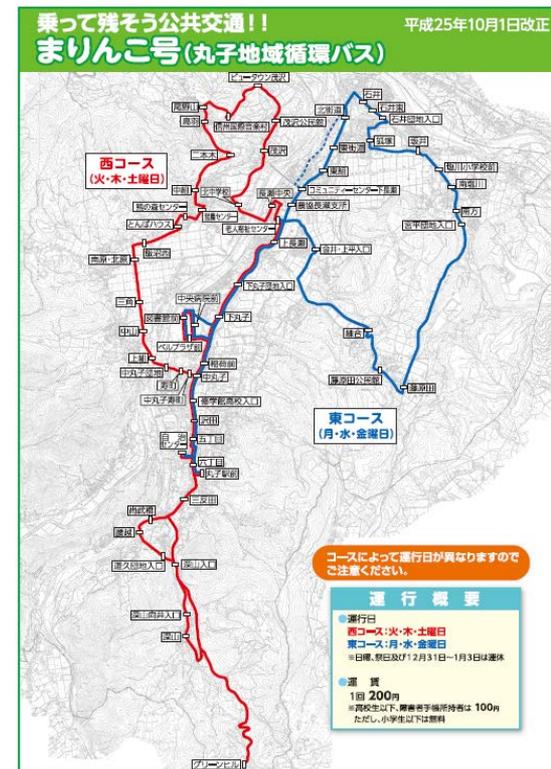
○コミュニティバスによる交通空白地域の解消

[上田市街地循環バス・丸子地域循環バス(まりんこ号)]

- ・地域の交通空白地域の解消
- ・買い物や通院利用者が中心
- ・市街地循環バス:全4コース(各4~5便)
- まりんこ号:2コース(各6便)



<市街地循環バス路線図>
出典:上田市HP「市街地循環バス路線図」



<丸子地域循環バス路線図>
出典:上田市HP「丸子地域循環バス」

取組みの概要④ー運賃低減バスー

○バスの利用促進「バスに乗ろう！」

- ・平成28年を目途に1.5倍の輸送人員を目指す取組み
- ・平成25年10月より運賃低減バス(17路線)の実証運行開始
 - 同一エリア内での乗降:1乗車当り上限300円
 - 隣接エリア間での乗降:1乗車当り上限500円

○行政負担

- ・17路線のうち13路線は廃止代替バスである
- ・従来から補助⁵しており、その補助額の減額を目指す

○実施の効果

- ・利用客の増加
導入6か月で前年比5.2%⁶増加(平成25年10月～平成26年3月)
※大雪による運休の多かった2月を除くと9.4%増加

5 代替バス運行に要した経費のうち、経常費用から経常収益を差し引いた額(上田市代替バス運行費等補助金交付要綱)

6 第13回上田市公共交通活性化協議会兼上田市地域公共交通会議資料



取組みの概要④ー運賃低減バスー

○実施にあたって

- ・交通事業者と同行し、他市の先進的な交通事業者への視察を実施した

○今後の課題・目標

- ・利用者数を増加させる
- ・現在は、中心市街地を目的地とする利用が中心だが、
 今後は郊外を目的地とする利用を増加させていきたい
- ・地域間交流を創生するような利用方法を啓発したい



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要⑤ー地域自主運行バスー

○地区内循環バス「あやめ号」

- ・高齢者や障がい者などの生活支援のための交通
- ・豊殿地区循環バス運営委員会が運営（豊殿地区振興会、自治会のメンバー等で構成）

○豊殿地区の特徴

- ・山間部に位置する
- ・2,177世帯⁷(5,405人)が生活している
- ・集落ごとに自治会等の活動が盛んである(16の自治会)
- ・自治会連合会とは別に、諸団体を加えた振興会有一些がある
- ・振興会は、自治会をまとめ、地域のイベント等の中心的役割を担う

○導入の経緯

- ・平成14年より、豊殿地区振興会を中心に検討
- ・研究委員会やアンケートを経て、平成18年試験運行
- ・平成19年1月より本運行を開始

7 上田市の統計「自治会別の世帯数及び人口(住民基本台帳人口)」(平成26年10月1日現在)



取組みの概要⑤ー地域自主運行バスー

○「あやめ号」の運行状況

- ・月・金曜日の週2回運行、1日4便
- ・乗車数は1日あたり15～20名程度
- ・同居者による送迎との併用利用(片道利用)もある

○運行ルートと住民要望への対応

- ・各地区内自治会、医療・福祉施設、商業施設、地域自治センター、JA等を循環運行
- ・自治会の停留所には集会施設(公民館等)を利用
- ・自由乗降可(クローズドア区間を除く)
- ・路線バス、オレンジバスとの接続により地域外へも移動可能
- ・ルート選定時、通院や買い物以外の要望は少なかった
- ・自治会ごとに1つ停留所を設置することで、住民の要望に対応
- ・バス運行が住民が生活サイクルに合っていれば、デマンド交通である必要はない



公益財団法人

日本都市センター

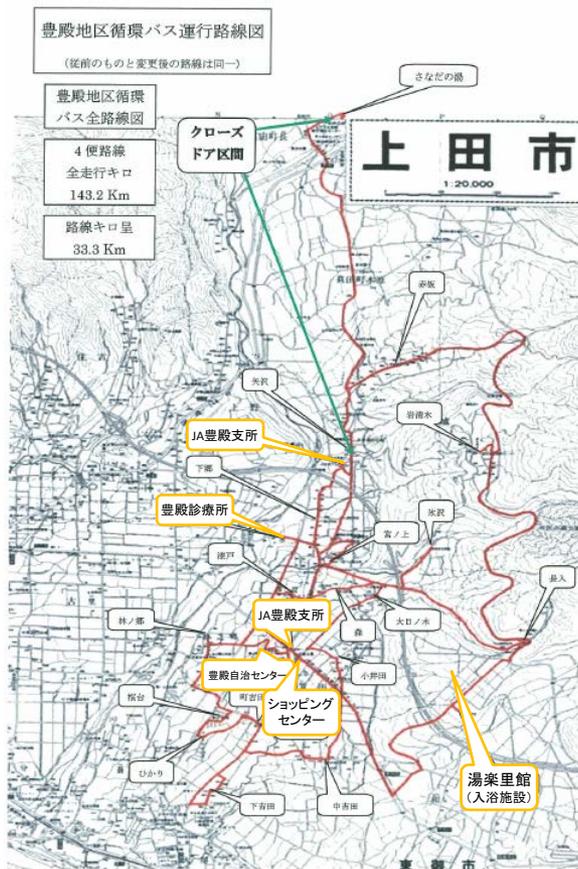
取組みの概要⑤ー地域自主運行バスー



<あやめ号のバス停の様子>

上: 豊殿地区転作促進センター(「岩清水」停留所)

下: 停留所標識(「水沢」停留所)



<豊殿地区循環バス運行路線図>

出典: 第12回上田市公共交通活性化協議会
兼上田市地域公共交通会議資料

取組みの概要⑤ー地域自主運行バスー

○運営経費

[収入]

- ・世帯負担金1,000円(自治会費として徴収)
- ・利用者1乗車あたり200円
- ・地元企業による賛助金
- ・「地域自主運行バス等運行費補助金」
(運行経費の1/3以内(100万円上限):平成24年度実績860,500円⁸)

[支出]

- ・運行委託料:基本便1日26,000円、続行便1回1,000円
(続行便は1日5,000円を上限)

○行政負担

- ・毎年の補助額は100万円程度であり、それほど大きな負担ではない

8 上田市『平成24年度決算に係る主要施策の成果等報告書』



取組みの概要⑤ー地域自主運行バスー

○取組みの拡大に向けた他地域の課題

[地域のリーダーの存在]

- ・受益者負担に対する住民の同意を得るのが難しい
- ・取組みを牽引し、住民をまとめるリーダー的な人材が必要

[自治会等の横断的なつながり]

- ・地域協議会の一部は旧町村単位で編成されるなど、所管区域が広すぎるため、まとまりに欠ける
- ・豊殿地区では、自治会の横断的組織(振興会)があったことにより、地域がまとまり、取組みを円滑に進められた

○「あやめ号」の今後の課題

- ・世帯負担金1,000円に対して、大きな不満はないが、年金中心の高齢者にとっては少し負担が大きいようだ
- ・交通事業者においては、自主運行バスを担当する運転手が1名しかいない



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要⑥－関係者の意識改革－

○交通事業者との視察

- ・他市の交通事業者へ交通事業者と共に視察を行った

○視察成果の交通事業者への提供

- ・他市等の視察で得た情報を交通事業者に提供している
- ・交通事業者に対して、意識改善を図るよう積極的に呼び掛けている

○効果

- ・接客態度に改善が見られるようになった
- ・運行の業務レポートを作成するようになった



取組みの概要⑦ー別所線の取組みー

○別所線の存続に向けて

- ・平成14年度、安全対策のための多額の設備が必要となった
- ・平成16年度より国・長野県・上田市による補助を開始
- ・上田市では、市独自の補助も含め、1億円程度を支出している

鉄道軌道輸送対策事業費補助金

別所線安全対策事業補助金

別所線運行経費補助金

別所線電車存続期成同盟会補助金

(千円)

| 年度 | 上田市 | 参考 | | |
|------|---------|---------|---------|-----------|
| | | 国 | 長野県 | 合計 |
| 平成16 | 103,183 | 13,400 | 6,700 | 123,283 |
| 平成17 | 69,246 | 21,592 | 10,795 | 101,633 |
| 平成18 | 95,606 | 20,172 | 10,086 | 125,864 |
| 平成19 | 117,886 | 46,018 | 22,472 | 186,376 |
| 平成20 | 88,935 | 49,606 | 22,343 | 160,884 |
| 平成21 | 67,295 | 27,660 | 10,175 | 105,130 |
| 平成22 | 108,805 | 29,431 | 14,712 | 152,948 |
| 平成23 | 106,652 | 24,973 | 12,315 | 143,940 |
| 平成24 | 114,671 | 23,178 | 11,587 | 149,436 |
| 平成25 | 71,170 | 36,579 | 17,443 | 125,192 |
| 計 | 943,449 | 292,609 | 138,628 | 1,374,686 |

<安全対策を中心とした設備投資に対する補助金額>
 出典:「別所線にのろう!」HP(別所線電車存続期成同盟会)を
 基に作成



公益財団法人

日本都市センター

取組みの概要⑦ー別所線の取組みー

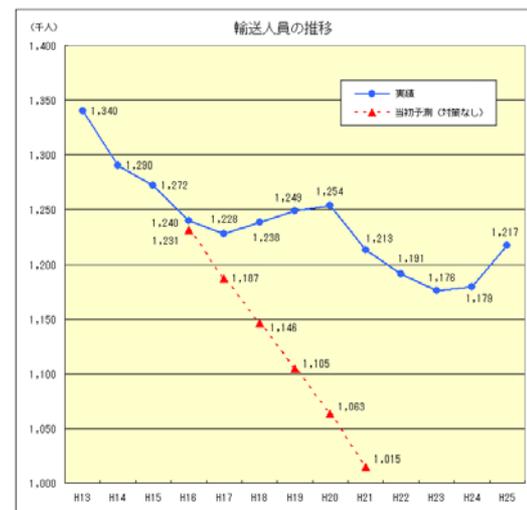
○別所線再生支援協議会を中心とした利用促進

- ・上田市、市内の自治会など関係25団体で別所線再生支援協議会を結成
- ・事業者・地域住民と一体で利用促進に取り組む
- ・自治会回数券の販売、車内イベント等の開催等を実施

○成果

- ・取組み開始後、乗客数は増加に転じた
- ・平成25年度輸送人員実績

1,217,959人
対前年度比38,696人増加(3.3%増)



＜別所線の輸送人員の推移＞

出典:「別所線にのろう!」JHP(別所線電車存続期成同盟会)



公益財団法人

日本都市センター

参考資料

- 上田市『上田市地域公共交通総合連携計画』

<http://www.city.ueda.nagano.jp/files/toshi/0590/20100205144415278.pdf>

- 豊殿地区循環バス運営委員会「上田市豊殿地区の取組みについて」

http://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/com_policy/hprenew/jinzai/nagano-bennkyou/houdenntiku.pdf

- 上田市HP「地域交通」

<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/sys/20091102104056611.html>

- 別所線電車存続期成同盟会HP「別所線にのろう！」

<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ipro/>

- 国土交通省地域公共交通支援センターHP「地域公共交通活性化事例」

<http://koutsu-shien-center.jp/index.html>



公益財団法人

日本都市センター